

XC10G カードへのXC およびXCVT カードのアップグレード

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[XC または XCVT カードを XC10G カードにアップグレードする方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、相互接続 (XC) または相互接続の仮想トリビュタリ (XCVT) カードを Cisco ONS 15454 XC10G カードにアップグレードする方法について説明します。

注: このドキュメントの例では、ライブトラフィックを伴う ONS 15454-SA-ANSI において、デュアル XC および XCVT カードをデュアル XC10G カードでアップグレードする方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- システム内に E100 か E1000 カードがある場合、XC カードのアップグレードの進行中にバス未装備アラーム (UNEQ-P) アラームが発生する可能性があります。アラームは、数秒以内に表示されてクリアされます。
- 手順はサービスに影響しません。ただし、アップグレードにより、期間 50 ms 未満の切り替えが発生します。XC または XCVT の切り替えにより、リニア 1+1 光学式キャリア (OC-N) 保護切り替えまたは双方向回線切り替え警告音 (BLSR) 保護切り替えが発生する可能性があります。Cisco では、メンテナンス時間帯を推奨します。ただし、必ずメンテナンス時間帯である必要はありません。
- この手順では、XC または XCVT カードが SA-ANSI シェルフ (リリース 3.1) にインストールされていることを前提としています。15454-SA-NEBS3 や 15454-SA-NEBS3E のシェルフなど、3.1 より前のリリースのシェルフからこのアップグレードを実行することはできません。XC10G カードでは 15454-SA-ANSI が必要です。
- クリティカルアラームおよびメジャーアラームは、この手順を開始する前にすべて解決しておく必要があります。これらのアラームは、[Network] ビューの [Alarms] タブで確認できま

す。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Transport Controller (CTC) リリース 3.1 以降を実行する Cisco ONS 15454。
- ONS 15454-SA-ANSI にインストールされた 2 つの XC または XCVT カード。
- インストール用に使用可能な 2 つの XC10G カード。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

XC または XCVT カードを XC10G カードにアップグレードする方法

次の手順を実行します。

1. 保護切り替えを避けるため、XC または XCVT 切り替えを実行する前に、次の点を確認してください。BLSRローカル ノードとリモート ノードの両方で動作中スパンがアクティブになっていることを確認します。そのためには、[Maintenance] > [Ring] タブを選択し、ウエストまたはイーストの回線を表示します。動作中スパンのトラフィックにエラーがないことを確認します (つまり、信号低下 [SD] や信号障害 [SF] のアラームが存在しないことを確認します)。XC または XCVT のリセットを開始する前に保護スパンをロックします。XC または XCVT スイッチ ノードに隣接するノードのイースト/ウエスト カードにロックアウトを配置します。1+1+1 の保護スキームでは、保護カードにロックアウトを配置し、そのロックアウトを設定する前に、動作中スパン上をトラフィックが通過するかどうかを確認します。そのためには、[Maintenance] > [Protection] タブを選択し、保護スロットを強調表示し、[Lock Out] をクリックします。
2. スタンバイの XC または XCVT カードを判別します。スタンバイ XC または XCVT カードの ACT/STBY LED はオレンジ色、アクティブな XC または XCVT カードの ACT/STBY LED は緑色です。注: また、CTC のカード グラフィックにカーソルを合わせると、ダイアログボックスが表示されます。この表示で、次のようにカードが確認されます。XC または XCVT : Active (アクティブ) XC または XCVT : Standby
3. ONS 15454 上のスタンバイ XC または XCVT カードを、物理的に XC10G カードに交換します。このためには、次の手順を実行します。XC または XCVT カードのイジェクタを開きます。このカードを滑らせながらスロットから取り出します。これにより IMPROPRMVL アラームが起動し、それはスタンバイ XC 10G カードがリロードした時点でクリアされます。XC10G カードのイジェクタを開きます。ガイドレールに沿って、XC10G カードをスロットにスライドさせて挿入します。イジェクタを閉じます。ACT/STBY LED の障害 LED が赤になり、数秒間点滅してオフになります。ACT/STBY LED がオレンジ色になり、点灯したままになります。

4. [Node] ビューで、[Maintenance] > [XC Cards] タブを選択します。
5. [Cross Connect Cards] メニューから [Switch] を選択します。
6. [Confirm Switch] ダイアログボックスで [Yes] をクリックします。注: アクティブな XC または XCVT の解除後、スタンバイ スロットまたは最初の XC10G カードがアクティブになります。これにより、最初の XC10G カードの ACT/STBY LED がオレンジ色から緑色に変わります。注: 2 枚目のカードが完全にロードされるまで、CTC には XCVT カードが示されません。この時点で、CTC の 2 つのカードには XC10G が示されています。
7. ONS 15454 からスタンバイの XC または XCVT カードを物理的に取り除き、空の XC または XCVT スロットに第 2 の XC10G カードを挿入します。そのためには、次の手順を実行します。XC または XCVT カードのイジェクタを開きます。このカードを滑らせながらスロットから取り出します。XC10G のイジェクタを開きます。ガイド レールに沿わせて、XC10G カードをスロットにスライドさせて挿入します。イジェクタを閉じます。第 2 の XC10G カードがブートし、スタンバイ XC10G になると、アップグレードが完了です。
8. 保護ロックアウトを解除します。これで手順は完了です。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)